

グローバル・アドバンス

入退室など一括管理

警備システム 中小の参入支援

【千葉】グローバル・アドバンス(東京都中央区、大野和人社長、03・5543・8689)は、入退室に伴う認証やログ(履歴)管理を一括して請け負うとともに、要望に応じて独自開発のパソコン管理システムなども供給する警備ソリューションを4月にも投入する。専門知識や大規模な設備を持たなくても付加価値の高い警備システムをエンドユーザーに提供できる点をアピールし、中堅・中小企業の警備事業および新規参入を支援する。

グローバル・アドバンスは、提供開始に合わせ、認証サーバを備えたデータセンター(DC)を新設する。警備対象の施設などに設置する認証装置や監視カメラ、管理用パソコンなどを、独自に開発したシステムをエンドユーザーに提供できる点をアピールし、中堅・中小企業の警備事業および新規参入を支援する。

活用し、いつ、誰が、どこを運ってどの部屋に入ったかといった詳細な履歴も管理できる。エンドユーザーの月額利用料は最小システム構成で1万5000円程度となる見込み。

開発のコントローラーを介してインターネット回線で接続。コントローラーは認証サーバで確認されたデータのみを通す仕組み。通信が遮断された場合は、一時的にデータの認証や蓄積もできる。

エンドユーザーの要望に応じて、携帯電話を使ったパソコン管理システムや、入室管理とパソコンのログインを連動したセキュリティシステムなど同社が開発したシステムを上乘せることも可能。さらに、全球測位システム(GPS)を